

新学習指導要領を考える

—小学校国語科書写の改訂内容への対応—



今回の小学校学習指導要領の改訂では、次の2点が注目されています。

1. 文字群に関する指導事項の充実（日常化への道筋の明確化）
2. 毛筆の機能面（運動面）に着目した指導事項の新設

この2点をどのように受け止め具体化していくかについては、小学校のみならず連続する中学校、高等学校でも大きな関心事であり、また、教員養成の場においても緊急の課題と言えます。

本シンポジウムでは、改訂点の解釈や可能性及び課題などを様々な視点から検討します。

★主 催 全国大学書写書道教育学会

★後 援 広島県教育委員会 広島市教育委員会 中国新聞社

★日 時 平成21年10月25日（日）14：10～16：20

★場 所 安田女子大学9号館

★コーディネーター 学会理事（広島大学大学院准教授）・松本仁志

★パネリスト

第一部

14：10～

大崎上島町立大崎小学校教頭・藤井浩治 先生
広島市教育センター指導主事・浜田龍治 先生
広島県立呉宮原高等学校教諭・上河綾子 先生

*第一部では、小・中・高の関係教員をパネリストとして、それぞれの校種の立場からの意見を交流します。

第二部

15：10～

上越教育大学准教授・押木秀樹 先生
千葉大学准教授・樋口咲子 先生
福岡教育大学教授・和田圭壮 先生

*第二部では、第一部の議論を受けて、大学の研究者の立場から改訂点の解釈や可能性及び課題などについて議論します。